

# 広報 しばた

since1961 2016 JUN

6

No.656

## 思い出が詰まった通り道

梅雨の時期を迎え、新緑から深緑に移り変わる小路。幼かった頃から変わらない風景。町のところどころに歩きたくなる道、子どもたちに残したい道があります。

# 『しばたの未来をひらく 読書の力』

## 第3次柴田町子ども読書活動推進計画 (平成28年度～平成32年度)

柴田町では、平成18年4月に第1次柴田町子ども読書活動推進計画を策定し、平成23年4月に第2次計画を策定しました。この間、子どもたちの読書活動を豊かにするさまざまな施策を展開し、平成22年5月には、柴田町初の公立図書館「柴田町図書館」を開館しました。

これからも子どもたちが読書の楽しさを実感し、生涯にわたって読書習慣を身につけることができるよう、今後5年間の子どもの読書活動推進計画を策定しました。



柴田町図書館お話し会「ひよこちゃん」の読み聞かせ

### 計画の対象

おおむね15歳まで（中学生以下）の子どものほか、家庭、地域、ボランティア、保育所、幼稚園、小中学校、町立図書館、行政など、子どもの成長に関わる関係機関とします。

### 読書活動推進のための3つの基本方針

- ①子どもの読書活動を推進する意義の理解促進  
読書活動の意義や重要性についての理解を広く普及させるために、実践事例などの情報提供や優れた取り組みの奨励など、普及啓発活動に努めます。
- ②子どもの読書活動を推進するための読書環境整備  
読書に親しむことができる環境を整備するため、公立図書館や学校図書館などの機能の充実や子ども読書活動を支える人の専門的な知識や技能の向上に努めます。
- ③子どもの読書活動の習慣化に向けた活動促進  
発達段階に応じた本との出会いの場や読書に親しむ機会が必要なため、乳幼児期から家庭を原点として、学校、地域などにおいて本に親しむ機会の充実を目指します。

○「子ども読書の日」(4月

- 23日)
- 「子どもの読書週間」(4月23日～5月12日)
- 「文字活字文化の日」(10月27日)
- 「読書週間」(10月27日～11月9日)
- 「ノーテレビ・ノーゲームデー」毎月23日



園児たちが夢中になる読み聞かせ (船岡保育所)

平成28年度子どもの読書活動優秀実践図書館として文部科学大臣表彰を柴田町図書館が受賞！

この表彰は、文部科学省が平成14年度から毎年4月23日の「子ども読書の日」に、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高める優れた活動などを実践している学校・図書館・団体(個人)の方々に表彰しているものです。

今回、柴田町図書館が学校および幼児施設との連携事業や学校図書館への司書派遣事業などの功績が認められ表彰を受賞しました。

## 第3次柴田町子ども読書活動推進計画

基本理念  
(スローガン)

しばたの未来をひらく  
読書の方

### 基本方針

1

#### 子どもの読書活動を推進する意義の理解促進

1. 推進のための普及や啓発
2. 子どもの読書活動に関する情報の収集や提供
3. 優れた取り組みの奨励と優良団体等の紹介

### 基本方針

2

#### 子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備

1. 図書館の整備・充実
2. 学校図書館の整備・充実
3. 関係機関・団体の連携と協力体制の構築

### 基本方針

3

#### 子どもの読書活動の習慣化に向けた活動促進

1. 家庭における子ども読書活動の取り組み
2. 学校等における子ども読書活動の取り組み
3. 図書館における子ども読書活動の取り組み

### 1 家庭に対する読書支援の取り組み

- 多様なお話し会（読み聞かせ）の開催
- ブックスタート事業の継続実施
- 子育てサークルへの読書支援活動
- 家族読書の推進
- 新入学児童読書推進事業「絵本は友だち」の継続実施

### 2 幼稚園・保育所・児童館などにおける読書活動の取り組み

- 乳幼児が絵本や物語に親しむ活動
- 絵本コーナーの充実
- 図書館訪問
- 保護者に対する絵本などの紹介

### 3 小中学校における読書活動の取り組み

- 読書指導の充実
- 図書委員会活動の充実
- 児童生徒の情報活用力の育成
- 校内研修の実施
- 教員向けマニュアルなどの作成
- 支援学級の子どもの読書活動の推進

### 4 図書館サービスの充実

- 蔵書の充実と団体貸出
- 子どもの本の展示の工夫
- ヤングアダルト（YA）コーナーの充実
- ブックガイドの作成・配布
- 子育て支援講座などの開催
- 行事の実施

### 5 学校図書館支援センターとしての機能の充実

- 学校図書館への団体貸出
- レファレンスへの対応と調べ学習資料の充実
- 学校図書館との連絡会の充実
- 学校司書に対する研修の充実
- 図書館見学

### 6 幼稚園・保育所・児童館など・地域の読書活動への支援

- 団体貸出
- 多様な資料の提供

☎ 柴田町子ども読書活動推進会議事務局  
柴田町図書館 ☎86-3820

# 第24回全国さくらサミットinしばた

## さくらを「魅せる・活かす・伝える」

柴田町で「第24回全国さくらサミット」が、4月14、15日の両日に開催されました。当町での開催は初めてとなります。

今回は、さくらを「魅せる・活かす・伝える」をテーマに全国さくらサミット加盟自治体29団体のうち、当町を含む21団体が参加し、交流を深めました。その概要を紹介します。

### ＊「わいわいサミット」より

「さくら」をまちのシンボルとし、地域振興や観光の核としている自治体間の輪を拡大していくことを目的に毎年開催されます。開催地自治体の特性を生かしたテーマをもとに交流が行われます。

### ＊サミット1日目

#### 「事前会議と町内視察」

参加自治体の首長らが来町し、ホテル原田inさくらにて事前会議が行われました。新たに加盟する4自治

体の承認が行われ、その後参加21団体の「わが町のさくら自慢」を交えた自己紹介が行われました。

和やかな雰囲気の中、しばたの郷土館はじめ、船岡城址公園を視察されました。桜の小径では、柴田町さくらの会の協力により、八重紅しだれ桜の記念植樹と記念碑除幕式が行われました。視察を終えて、柴田町のおやじバンド「5人兄弟」の演奏によるおもてなしで始まった交流会で親睦を深めていました。

### ＊サミット2日目

#### 「講演・事例発表・全体会議」

同ホテルにて、つぎのき女声コーラスによる合唱「花は咲く」で始まった2日目のサミットに町民ら約150人が参加されました。

講演会では、落語家の桂春蝶さんから落語「大阪城の残念石」が披露されました。その後、神谷由紀子氏

による「フットパスによる地方活性化」について事例発表が行われました。

さくらサミットのコーディネーター篠田伸夫氏の進行により、さくらを「魅せる・活かす・伝える」をテーマに全体会議が行われ、「さくらを生かした地方創生の取り組み」「後世に伝えるための取り組み」などについて各自治体から事例発表がありました。

サミット閉幕では、参加自治体代表として滝口町長が共同宣言を行い、「さくらを地域資源の主役とし、多くの人々が集い、まちをより知ってもらおうこそが、町の持続的な発展につながるものと確信している」と述べ、次回開催地である群馬県前橋市にサミット旗を引き渡しました。

## サミット加盟自治体 ※新規加盟自治体

北海道新ひだか町、秋田県仙北市、宮城県（柴田町、＊大河原町、＊白石市、＊七ヶ宿町）、福島県富岡町、茨城県日立市、埼玉県（幸手市、北本市）、群馬県前橋市、東京都（北区、豊島区）、新潟県（新発田市、五泉市）、長野県伊那市、愛知県（犬山市、＊東浦町）、岐阜県（高山市、本巣市、各務原市）、奈良県吉野町、岡山県津山市、島根県（雲南市、益田市）、福岡県八女市、長崎県大村市、熊本県水上村、宮崎県日南市



2



1



4



3



6



5



8



7

1 事前会議にて新規加盟した4自治体が承認された。 2 船岡城址公園内を視察 3 展望デッキにてしばた歴史観光ガイドの会が案内 4 桜の小径にて3本の桜を記念植樹 5・6 サミット開催および記念植樹の記念碑除幕式 7 全体会議では、各自治体の取り組みや課題が発表された。 8 次回開催の群馬県前橋市、山本市長にサミット旗が渡される。



柴田町長 滝口 茂

「雨」「雨の慕情」「雨の物語」「傘がない」など、雨をテーマとしたヒット曲は数多くあります。その中で久しぶりに三善英史の「雨」を聞きました。現在の彼の姿には美少年だった十代の頃の面影はありませんでしたが、ハイトーンから入るイントロは瞬時に私を若かりし頃の自分に引き戻してくれました。

私たちの青春時代は、ロックやフォークソング、そしてグループサウンズが全盛の頃でした。あまりにも急激な経済成長によって社会のひずみが広がり、また公害や大気汚染が深刻化する一方で、海外では、ベトナム戦争が泥沼化するなど、社会が混沌としていました。

若者は、理想の社会づくりを目指して、体制批判や反戦運動などの学生運動を激化させていきました。その時に若者の心を捉えたのが「戦争を知らない子供たち」「若者たち」「フランシーヌの場合」など、社会派と言われるフォークソングでした。

しかし、政治闘争だけで社会は変えられないことを悟った若者たちは、やがて体制の中に組み込まれていくことにな

## 思い出のメロディー「雨」

ります。

「いちご白書をもう一度」の「就職が決まって髪を切ってきたとき、もう若くないさと君に言い訳したね」のフレーズは、挫折を味わった過去の自分との決別の歌だと言われています。現実を前に自分をごまかす後ろめたさが表現されています。

私の青春時代には、こうした青春の歌がたくさん生まれ、今も珠玉の名曲として歌い継がれています。

ところが最近、世代を超えて歌えるヒット曲がなかなか生まれません。その理由は、リズムが中心で、テンポが早い若者たちの歌に三分間の人生ドラマが見えないし、社会的なメッセージも伝わってこないからではないかと思えます。

今、団塊の世代が再び社会派フォークソングや人生の応援歌としての演歌を歌いだしたのは、三分間の人生ドラマが描けない、うすっぺらな社会、情がうすい淡白な社会への暗黙の抵抗なのかもしれません。

私にとつてうつつとうしい梅雨の季節、「雨」に変わるせつない想いや、やるせない心情を歌い上げる叙情的なヒット曲が生まれてこないものかと思つていきます。

## 郷土史めぐり

### 槻木、遺跡見学のすすめ

文化財保護委員 木村邦雄

「しばた百選」が選定され、発表されました。そして、同時に製本された「しばた宝ものマップ」が全戸に配布されました。

この地図は、柴田町の歴史と現況を見事に描いてくれました。白石川を境に上半分は槻木で、下半分は船岡になります。槻木側には、百選中五十二カ所が選ばれ、船岡側は、四十八カ所が選ばれました。

槻木分は、八割近くが貝塚と遺跡と寺社仏閣などによって占められています。船岡分の地図中に占める遺跡などの割合は、一割ほどです。その他は、中・近世以降と現代の史跡以外が展開されています。

現在町内に分布する文化財で、町や県の指定する史跡類は十八カ所あります。その中の十五カ所が槻木に集中しているのです。町内には現在、指定されていないものも含め、九十八カ所の史跡があります。槻木に分布するのは、八十カ所にもなります。

「しばた宝ものマップ」を改めてご覧ください。富沢・上川名・葉坂・入間田・成田・小成田・海老穴には、鎌倉や室町時代までの遺跡が分布していることもわかります。



古墳時代の農民の男女

縄文遺跡や出土品の学習は、しばたの郷土館でもできます。

しかし、柴田町の郷土史は、槻木地区などの現地にお出かけになり、貝塚の白い貝殻を手にとされるなどして、体感できるのです。

今年も町内小中学校の児童・生徒さんと遺跡見学の予定が立てられており、期待しています。



# 健康情報クリップ

なるほど!

みんなの健康ライフ シリーズ24

☎ 健康推進課 TEL 55-2160 FAX 55-4172

第24回のテーマは、「みんなで歩こう!」です。

運動は健康な体を維持するために必要不可欠です。1日10分間程度の運動でも、健康寿命を延ばすことができると言われています。日常生活の中で運動を習慣化することが大切です。

運動の中でもウォーキングは身近で手軽に行えます。運動の習慣化を目的とし、町では平成27年度に、ウォーキング講座「みんなで“歩こうざ”」を開催しました。ウォーキングに対する興味・関心は高く、申し込み開始から数日で定員に達しました。講座では仙台大学の運動講師により、正しいウォーキングの仕方を実践を交えて楽しく学びました。また、町でサークル活動を行っている方から、サークル活動の楽しさについて体験談を聞かせていただきました。



第1回 「みんなで“歩こうざ”」の様子

4月からウォーキング講座の参加者による3つの自主サークルが立ち上がり、現在活動を行っています。

## 「みんなで“歩こうざ”」で立ち上がったサークルの紹介

### 元気サークル



4月13日(水) 第1回のウォーキング

### 参加者の感想

- Aさん：一緒に歩く人がいると自然と外に出て歩くようになります。
- Bさん：会話をしながら楽しく歩くことができます。
- Cさん：一人だと心細いが、みんなで歩くと心強いし、長く続けられそうです。
- Dさん：季節ごとの景色を楽しみながら気分良く歩けます。

## 保健師よりワンポイントアドバイス

運動は1人で行うより仲間と楽しく行うことで継続しやすくなります。ウォーキングサークルなどを利用し、みんなで楽しく歩きませんか? 興味のある方は、健康推進課までお問い合わせください。

広 告

広 告

# まちかど NEWS



はなみちゃんも一緒に踊りました



ナイトツアーに参加した皆さん

## みんなで盛り上げた「しばた桜まつり」NEWS

町最大のイベント「しばた桜まつり」には25万2千人の観光客が訪れました。祭り期間中は、さまざまなイベントが開催されました。よさこい演舞では、町内外から出場したよさこいチームが力強く華やかな舞を披露しました。また、4月12、13日には柴田町観光物産協会主催によるナイトツアーも開催されました。仙台から33人の参加がありました。銀座通り商店街での買い物や夜桜を楽しみました。

## 子育て中の親子を支援

NEWS

柴田町子育てサポーターの皆さんが、4月21日(木)に船迫こどもセンターで行われた、3歳児子育てまなびサークル「さくらんぼ」の活動に参加し、子どもたちと牛乳パックを使って名札を作って遊んだり、お母さん方からの相談に応じたり、子育て中の親子を支援しました。

子育てサポーター代表の佐々木恵美さんは「これからも自分の子育て失敗談などを話しながら、お母さんをサポートしたい」と話してくれました。



参加者と笑顔で接するサポーターさん

広 告

広 告



## 乾 あさ子さん。100歳のお祝い

槻木下町3丁目の乾あさ子さん（大正5年4月25日生まれ）が満100歳の誕生日を迎えられました。

長寿のお祝いに訪れた町長の手をとって「ありがとうございます」「さいます」と答えてくれました。

乾さんは医師の旦那様とともに、地域の皆さんの健康をサポートするため、多忙な日々を過ごされてきました。健康の秘訣は、「好き嫌はなく、三食きちんと食べる」と話されていました。



新聞を読むのが好きな乾さん

## 第10回柴田さくらマラソン



自己ベストを目指してスタート

今回で10回の節目となる「柴田さくらマラソン」が4月23日（土）に開催されました。県外からの参加もあり、当日は2,500人が力走。沿道からは多くの声援が送られました。

岩手県北上市から5km男子に参加した、高橋能史さん（33歳）は、「多くの声援があり、元気づけられました。桜が咲いていなかったのは残念ですが、来年は咲いているときに走ってみたい。」と話してくれました。

## タイからの誘客 太陽の村の味をアピール

4月27日（水）、柴田町太陽の村にタイからの団体ツアー客26人が訪れました。

東北地方へのインバウンド（外国人旅行者の誘致）を進める「（一社）みちのくインバウンド推進協議会」が企画した東北ツアーの行程に、柴田町の桜見学が組み込まれ、太陽の村でのおもてなしが実現しました。

ツアーに参加した皆さんは「桜を見たかったが、散つてしまい残念。でも辛みそラーメンがとてもおいしかったです。また柴田町に来てみたい」と笑顔で話してくれました。



手作りみその絶品ラーメンを味わう皆さん

広 告

広 告



はなみちゃんからの

# フラワーレター



## 第3回しばた紫陽花まつり

船岡城址公園に咲く 2,600 株の  
あじさいをお楽しみください。



期間/6月17日(金)~7月3日(日) 会場/船岡城址公園

### こうほう 文芸

#### 短歌

昭和の日花火師達の火の花は  
ドーンと咲くや雨の大仙  
船岡 可沼 妙子  
パイパスを爺の手を取り歩く孫  
目を輝かせ「ブブブ」「ブブブ」と  
本船迫 森田 真六

さわやかな音して庭の竹の子を  
食べる愛犬若々しき  
船岡 沢田 順子  
休日雨にシヨパンの夜想曲  
独居コーヒー冷めるがまよに  
大槻 信吉

#### 川柳

厳寒にウチブプロたてて床に就く  
四日市場 坂本 一風  
口止めのおこり裏目に出でしまい  
四日市場 齋藤夢太郎  
あ、無情春のあらしに散る桜  
西船迫 渡辺 晴江  
直下地震揺れおさまらず救助待つ  
西船迫 安ヶ平良三  
一週間疾風のように過ぎてゆく  
船岡 阿部美代子  
勝負師よモラルが先でアスリート  
梶木 大宮 二郎

折り紙は角を合わせて独り言  
船岡 伊藤タイ子  
クマガイ草何を好んで藪の中  
西船迫 三澤 精一  
あの集い若かりし頃よみがえる  
梶木 加藤 利通  
一面に広がる庭に芝さくら  
梶木 つきのき町子  
リフォームで体も顔もおせたら  
船岡 小林 夢子

#### 俳句

つちふるや蔵王の峰が薄く見え  
船岡 可沼 妙子  
春暁や用水の瀬の高鳴りて  
下名生 笠松ふみ子  
教会の堅き木崎子や夏来る  
梶木 永井 堯  
熊本の地震静まれ祈る春  
西船迫 安ヶ平奈津枝  
そよそよと花香誘い虫遊ぶ  
船岡 安藤 節子  
青空に花片舞い散る城址かな  
西船迫 後藤 文子  
白藤の馨しき香り風運ぶ  
西船迫 玉手みき子  
夏みかんむいて差し出す白い指  
葦神 葛 若月ノリ子  
夕風に翻弄されて沙羅の花  
中野西範子  
花鬼灯人恋しくて咲きにけり  
石垣テル子

夢を見る少女の瞳アマリリス  
制野 千秋  
遺構とは黙の語部三月来  
遊佐 徹  
喜雨至る命あるものみな伸びよ  
山家美智子  
雲間より開聞岳や夏来たる  
三塚 直樹  
緑陰や母似の人と道づれに  
及川美沙子  
義経を語るガイドの夏帽子  
藤原 恪子  
沈丁花の風に誘われ朝の道  
若月ノリ子  
詩心の枝分かれして春の雲  
大久保和子  
春の雨句読点なき母の文  
佐藤きみこ

気になる情報をメールで配信!

## 柴田町メール配信サービス



イベントや観光、防犯、子育てに関する情報などを、携帯電話で受け取ることができます。  
なお、登録料は無料ですが、メール受信などにかかる通信料は利用者の負担となります。

#### 登録方法

携帯電話から右上の二次元コードを利用し、  
空メールを送信してください。メールの件名、  
本文は空欄のままで結構です。

配信内容	イベント・観光・物産情報
災害・防災情報	防犯・交通・安全安心情報
休日当番医情報	健康情報
子育て情報	熊等出没情報
柴田町図書館情報	社協子育て支援情報
社協各種講座・イベント情報	社協ボランティア情報・災害支援情報



# 夢空間 2016



切り絵「多聞山から見る松島風景」  
佐藤光雄さん (西船迫四丁目)



はなちゃん  
(ペンネーム)



お子さん(4歳まで)の写真をお待ちしています。写真の裏にお子さんの名前を必ず書いてください。投稿者の住所、氏名、電話番号、お子さんの名前・生年月日を明記し、「ひとこと」を添えて応募してください。

## こども美術館



「もやもやした気持ち」(絵)

槻木小学校5年

佐藤 木々南 さん



「たのしい気持ち」(絵)

槻木小学校5年

遠藤 幹人 さん

ふれあいマイタウンは、町民の皆さんからの応募・紹介でつくるコーナーです。俳句・川柳・短歌に興味がある(ことう芸文)、自己表現コーナー(夢空間2016)、お子さんの成長の写真やかわいい孫の写真を載せたいという方は、はがきなどで6月8日(水)まで応募ください。

※応募する場合は投稿者の住所、氏名、電話番号、ペンネーム(希望者のみ)を明記してください。 ■連絡先/まちづくり政策課 ☎54-2111

広 告

広 告

思いを胸に Vol.132

『常にお客さまに喜んでもらえる商品をお届けします。』

町内で働く若い世代の方の思いや夢などを紹介するコーナーです。



商品の仕分作業をする山家さん



豊屋食品株式会社

**山家 茜さん** (23歳)  
やんべ あかね 写真左

**水戸 祐佳利さん** (22歳)  
みと ゆかり 写真右

下名生地区で操業している豊屋食品工業株式会社は、全国でも有名な仙台長茄子漬をはじめ、さまざまな漬物を製造販売しています。

今回は会社の若手、入社5年目の山家茜さんと4年目の水戸祐佳利さんを紹介いたします。

山家さんは製造部門でコンビニエンスストア向けの漬物商品を作っています。豊屋食品では、宮城、岩手、秋田、青森県の店舗に商品を供給していて、製造、仕上げまですべて手作業で行っています。

「食品の盛り付けやラベル貼りも大変ですが、1店舗1店舗に仕分けする作業が一番大変です。でも、当社の商品が店頭に並んでいたりと、購入しているお客さまの姿を見るとその大変さも忘れず」と笑顔で話してくれました。

会社で一番若い水戸さんは、事務部門に所属し、注文の受付や売上传票の集計などの事務全般と電話でのお客様対応を行っています。「十人十色、お客さま一人ひとりのご要望に対応するのが難しいですが、電話がお客さまとの一番のコミュニケーションツール、褒めてもらうことも多いし、有名から直接注文の電話が来

るときもあり、とてもやりがいを感じて仕事をしています」とにこやかに話してくれました。

豊屋食品は、歴史によって培われた製法に固辞することなく、お客さまが求めているおいしさを提供しています。二人は「まだまだ経験が浅いですが、日々先輩方から教わりながら、自分ができることは責任を持ってやりたい」と目を輝かせています。

豊屋食品工業株式会社

柴田町大字下名生字八剣20  
TEL 55-1071



昭和12年豊屋酒店として創業。昭和21年に漬物製造を開始。全国にその名を知られる仙台長茄子をはじめとして、新鮮な野の幸を生かした漬物づくりを通じて、食文化の提唱を続けている。従業員数55人。

人口と世帯数  
(平成28年5月1日現在)



38,405人  
(前月比145人増)



19,179人  
(前月比110人増)



19,226人  
(前月比35人増)



15,515世帯  
(前月比154世帯増)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。